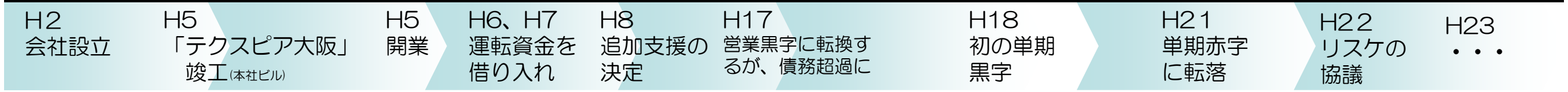


株式会社大阪繊維リソースセンター（RC） 事業の経過



総事業費54億円

資本金 27億5840万円
(千円)

国	産業基盤整備基金（現中小機構）	720,000	26.10%
行政	大阪府	580,000	21.03%
	泉大津市、泉大津商工会議所	375,000	13.59%
	大阪市(100,000千円) 堺市含む12市町	207,500	7.52%
金融機関、商社、素材・機械メーカー等	507,700	18.40%	
繊維関連業界団体、組合	115,450	4.18%	
中小企業	670社	210,250	7.62%
	出資金105万円以上	20社	86,200
	出資金15万以上～100万円以下	236社	94,200
	出資金10万円以下	414社	29,850

建設費借入 26億5000万円

	借入額(千円)	金利	返済期間
NTT融資(開銀→政投銀)	1,700,000	無利子	H6~20
市中銀行(7行)	300,000	5.0%	H5~19
大阪府	650,000	2.1%	H7~24

<RCの経営状況>

- 資金繰りが悪化し、運転資金の融資を受ける。
- 減損会計の実施(17年度) 減損特別損失計上(▲6.1億) →17年度から債務超過に

年度	営業利益	償却前利益
16	▲38百万	87百万
17	4百万	1億 5百万
18	28百万	1億29百万
19	10百万	1億18百万
20	▲4百万	77百万
21	▲30百万	30百万

- 府貸付金の償還開始(1.55億円/年)
- 営業収益低迷。22年度分返済困難に

リーマンショック H20
↓
売上げ減少

◆金融機関

運転資金融資 1.1億円

6年11月

市中7行	3.3%	H8.3末一括返済
------	------	-----------

RC建物担保(登記留保)

運転資金融資 2.0億円

7年9月

市中7行	2.0%	H8.3末一括返済
------	------	-----------

RC建物担保(登記留保)

◆大阪府の支援策(8年度)

府貸付金の無利子化・償還延伸(12年間据置)

建設資金6.5億円を2.1%から無利子化
返済期間変更(H21~36)

府融資 20億円(無利子・12年間据置)

返済期間(H21~36)

(泉大津市へのRC隣地売却収入13.5億円)

市中銀行6.1億一括返済(H8)

- ・建設費 3.0億
- ・運転資金 3.1億

政投銀は約定どおり返済

売上げ額が大幅に減少

19年度	515百万円
20年度	450百万円
21年度	340百万円

営業利益が赤字に

19年度	10百万円
20年度	△ 4百万円
21年度	△30百万円

H22 府と会社でリスクについて協議。

● 22年度分の返済ができなくなり、リスク協議は打ち切り。経営陣は退任。

会社は体制を大幅に縮小するとともに、新しい経営陣の下、更なる経費の見直し等を経営改善策を検討したが、返済を継続していくことは困難な見通しであるため、会社を解散し、特別清算を申立てることを決定

3